

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)」は、このたび、第102期の決算を行いました。

当ファンドは英国ポンド建ての公社債等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)

愛称：Mr.ポンド^{ミスター}

追加型投信 / 海外 / 債券



<為替ヘッジなし (毎月決算型) > <為替ヘッジあり (毎月決算型) >

第102期末 (2023年10月16日)		第102期末 (2023年10月16日)	
基準価額	5,267円	基準価額	7,720円
純資産総額	609百万円	純資産総額	31百万円
第97期～第102期		第97期～第102期	
騰落率	7.3%	騰落率	△ 4.3%
分配金(税込み)合計	120円	分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第97期 (決算日 2023年5月15日)

第98期 (決算日 2023年6月15日)

第99期 (決算日 2023年7月18日)

第100期 (決算日 2023年8月15日)

第101期 (決算日 2023年9月15日)

第102期 (決算日 2023年10月16日)

作成対象期間 (2023年4月18日～2023年10月16日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>



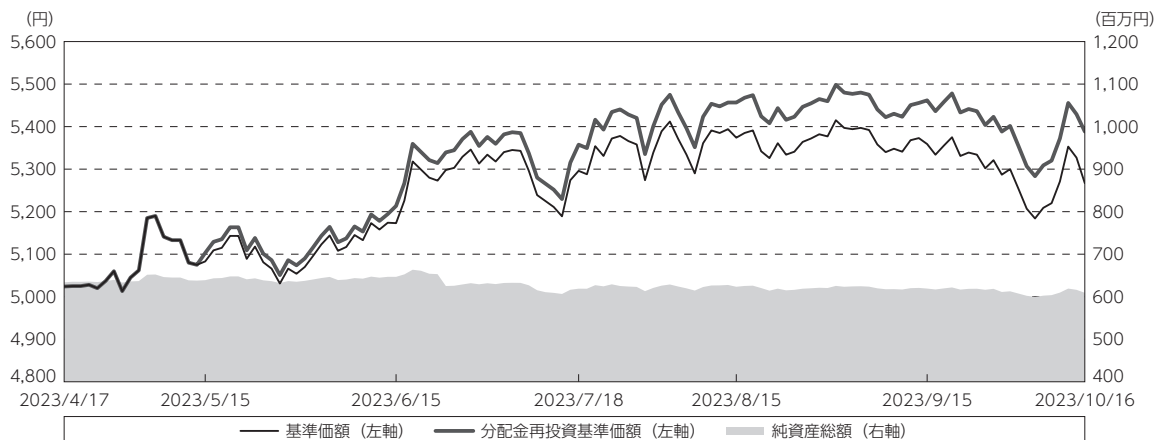
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年4月18日~2023年10月16日)



第 97 期首：5,024円

第102期末：5,267円 (既払分配金 (税込み) : 120円)

騰 落 率： 7.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2023年4月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・英国ポンド建ての公社債などを実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン (利息収入) が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、英国ポンドが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・①インフレの低下スピードが緩慢なこと、②イングランド銀行 (BOE) が継続して利上げを行ったこと、一などから英国国債利回りが上昇 (債券価格は下落) し、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年4月18日～2023年10月16日)

項目	第97期～第102期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 24	% 0.454	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.082)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.356)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.056	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.042)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	27	0.510	
作成期間の平均基準価額は、5,251円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

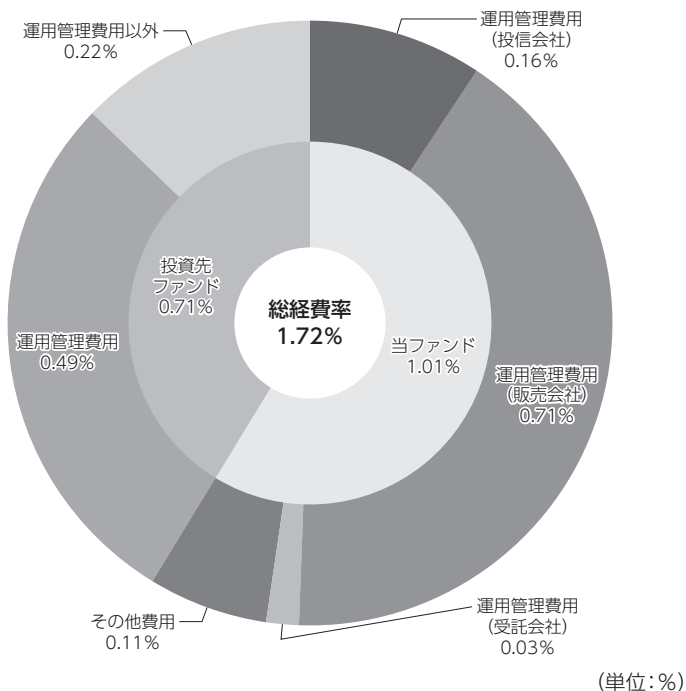
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率(①+②+③)	1.72
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.22

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年10月15日～2023年10月16日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年10月15日 決算日	2019年10月15日 決算日	2020年10月15日 決算日	2021年10月15日 決算日	2022年10月17日 決算日	2023年10月16日 決算日
基準価額 (円)	5,521	5,136	5,168	5,624	4,630	5,267
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	260	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.3	5.4	13.6	△ 13.8	19.2
純資産総額 (百万円)	1,265	1,112	939	896	636	609

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれず、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

(2023年4月18日~2023年10月16日)

英国2年国債 4.91% (前作成期末 3.61%)

英国5年国債 4.54% (同 3.51%)

英国10年国債 4.48% (同 3.69%)

英国ポンド/円 181円72銭(同 166円04銭)

※上記は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、英国10年国債利回りは上昇しました。作成期初は、BOEが13会合連続となる利上げを行ったこと、根強いインフレを抑制するため、今後も利上げが継続するとの観測が高まったことなどを背景に、債券利回りは上昇しました。作成期中盤以降も、①BOEが14会合連続の利上げを行ったこと、②英消費者物価指数(CPI)が市場予想を上回り、高止まりしていること、一などを背景に、債券利回りは上昇基調で推移しました。作成期後半の2023年9月には、インフレ率が予想を下回ったことなどを受け、BOEは利上げを休止したものの、作成期を通して見ると、作成期中盤までの上昇幅が大きく、英国10年国債利回りは上昇して作成期末を迎えました。

<為替市場>

当作成期間中、英国ポンドは対円で上昇しました。作成期初は、英国のインフレ率が高止まりしていることを受け、英国国債利回りが上昇基調で推移したこと、日銀による大規模な金融緩和政策の継続により、日英金利差が拡大するとの観測が強まったことなどを背景に、英国ポンドが対円で上昇する展開となりました。その後、作成期終盤には、BOEが利上げを休止し、長期金利が一時的に低下したことなどを背景に、英国ポンドが対円で弱含む展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年4月18日~2023年10月16日)

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (英国ポンド建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度 (デュレーション) などを積極的に変化させる運用を行いました。具体的には、投資適格社債、金融機関が発行するシニア債の組入比率を高位とし、ポートフォリオの中心的な投資対象としつつも、先進国国債などの流動性資産も組み入れております。

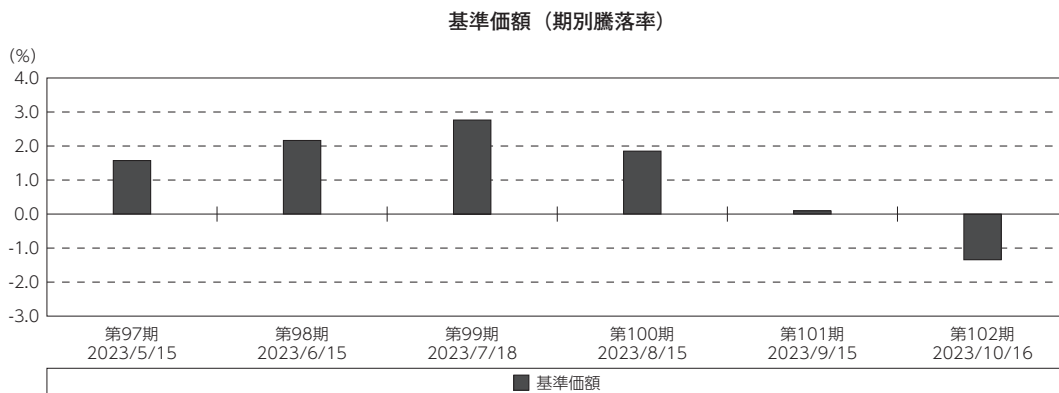
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年4月18日~2023年10月16日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2023年4月18日～2023年10月16日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第97期から第102期まで1万口当たり20円（全て税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2023年4月18日 ～2023年5月15日	2023年5月16日 ～2023年6月15日	2023年6月16日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月15日	2023年8月16日 ～2023年9月15日	2023年9月16日 ～2023年10月16日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.392%	0.385%	0.376%	0.371%	0.372%	0.378%
当期の収益	－	－	－	－	20	－
当期の収益以外	20	20	20	20	－	20
翌期繰越分配対象額	5,625	5,662	5,642	5,622	5,657	5,637

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）に投資を行います。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーションなどを積極的に変化させる運用を行います。具体的には、発行体のファンダメンタルズ分析、債券のリスク・リターンバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。足元では、英国国債や投資適格社債などに投資し、ポートフォリオのデュレーションは英国ポンド建て社債市場よりも長めとしています。今後も、リスク調整後の利回りが魅力的であるとする投資対象に投資を行う方針です。引き続き、積極的にデュレーションや資産配分を調整し、中長期で安定した収益獲得に努めてまいります。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

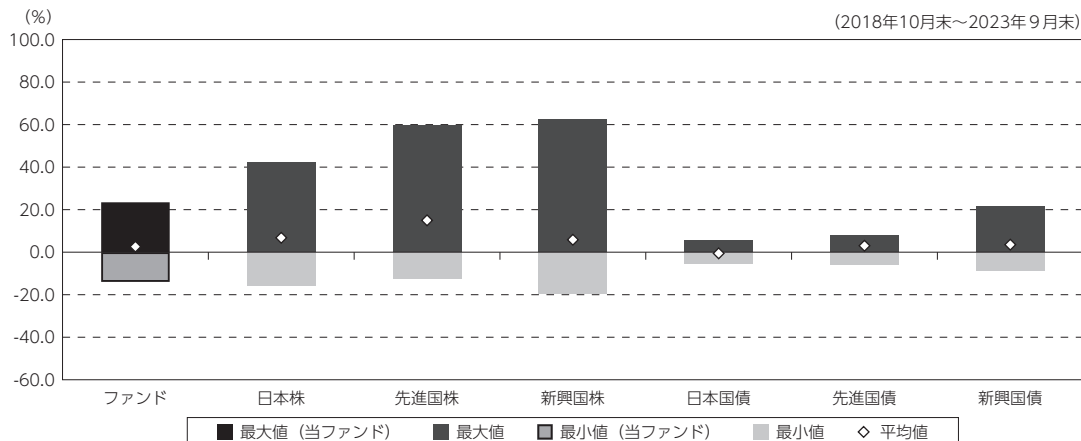
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2025年4月15日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 英国ポンド建て債券 ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券 [*] へ投資し、主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資します。 ・自由度の高い運用手法を用いて、信用格付別配分や金利感応度等を積極的に変化させます。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.6	6.8	15.0	5.9	-0.6	3.0	3.5
最大値	23.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-14.0	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年10月16日現在)

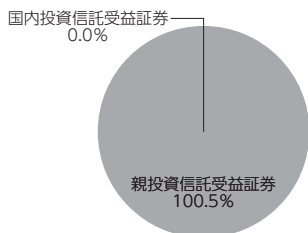
○組入上位ファンド

銘柄名	第102期末
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	100.5 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

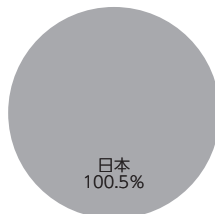
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

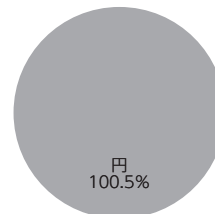
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2023年5月15日	2023年6月15日	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日
純資産総額	638,914,191円	646,732,668円	618,878,798円	623,433,320円	619,148,433円	609,233,467円
受益権総口数	1,257,085,967口	1,250,248,107口	1,168,593,083口	1,160,144,170口	1,155,281,694口	1,156,721,039口
1万円当たり基準価額	5,083円	5,173円	5,296円	5,374円	5,359円	5,267円

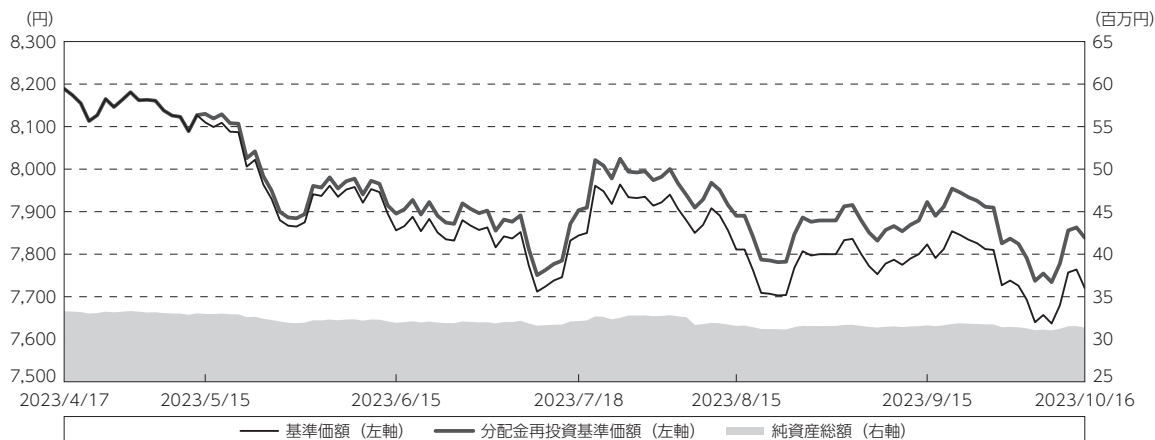
* 作成期間 (第97期~第102期) 中における追加設定元本額は38,908,153円、同解約元本額は144,000,513円です。

インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年4月18日~2023年10月16日)



第97期首：8,189円

第102期末：7,720円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：△ 4.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年4月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・英国ポンド建ての公社債などを実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・①インフレの低下スピードが緩慢なこと、②イングランド銀行(BOE)が継続して利上げを行ったこと、一などから英国国債利回りが上昇(債券価格は下落)し、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、英国ポンドと円の金利差によるヘッジコストが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年4月18日～2023年10月16日)

項 目	第97期～第102期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 36	% 0.454	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.082)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.356)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.056	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(3)	(0.040)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	40	0.510	
作成期間の平均基準価額は、7,890円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

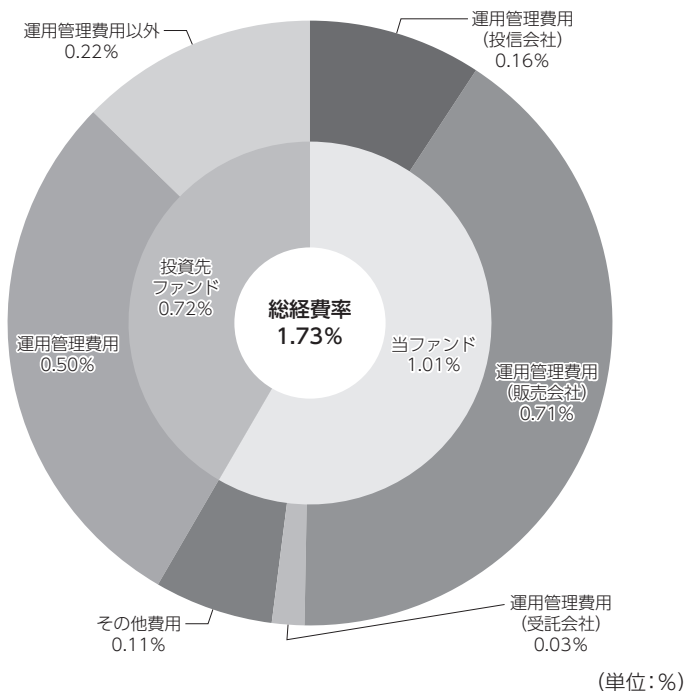
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率(①+②+③)	1.73
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.50
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.22

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

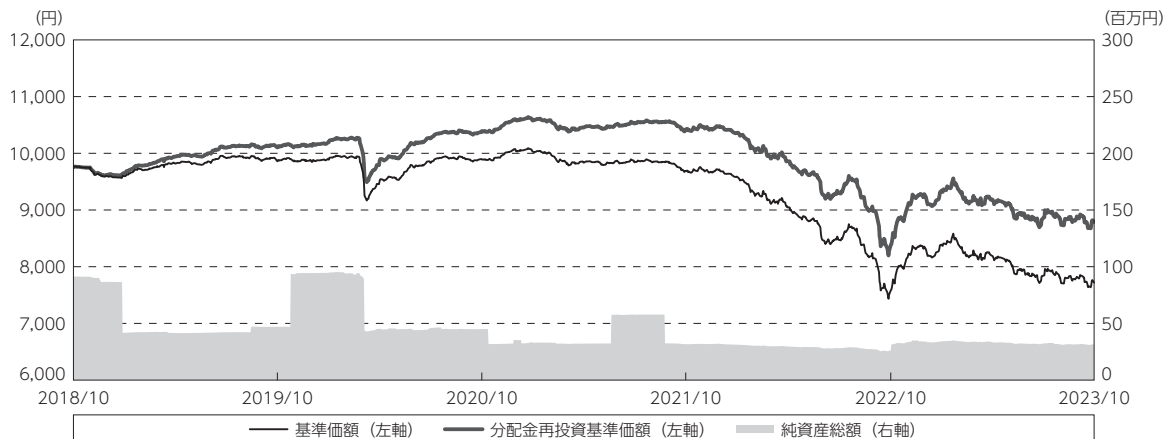
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年10月15日～2023年10月16日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年10月15日 決算日	2019年10月15日 決算日	2020年10月15日 決算日	2021年10月15日 決算日	2022年10月17日 決算日	2023年10月16日 決算日
基準価額 (円)	9,755	9,858	9,896	9,687	7,583	7,720
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.6	2.9	0.3	△ 19.6	4.9
純資産総額 (百万円)	91	46	45	31	26	31

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれず、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

(2023年4月18日~2023年10月16日)

英国2年国債 4.91% (前作成期末 3.61%)

英国5年国債 4.54% (同 3.51%)

英国10年国債 4.48% (同 3.69%)

英国ポンド/円 181円72銭(同 166円04銭)

※上記は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、英国10年国債利回りは上昇しました。作成期初は、BOEが13会合連続となる利上げを行ったこと、根強いインフレを抑制するため、今後も利上げが継続するとの観測が高まったことなどを背景に、債券利回りは上昇しました。作成期中盤以降も、①BOEが14会合連続の利上げを行ったこと、②英消費者物価指数(CPI)が市場予想を上回り、高止まりしていること、一などを背景に、債券利回りは上昇基調で推移しました。作成期後半の2023年9月には、インフレ率が予想を下回ったことなどを受け、BOEは利上げを休止したものの、作成期を通して見ると、作成期中盤までの上昇幅が大きく、英国10年国債利回りは上昇して作成期末を迎えました。

<為替市場>

当作成期間中、英国ポンドは対円で上昇しました。作成期初は、英国のインフレ率が高止まりしていることを受け、英国国債利回りが上昇基調で推移したこと、日銀による大規模な金融緩和政策の継続により、日英金利差が拡大するとの観測が強まったことなどを背景に、英国ポンドが対円で上昇する展開となりました。その後、作成期終盤には、BOEが利上げを休止し、長期金利が一時的に低下したことなどを背景に、英国ポンドが対円で弱含む展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年4月18日~2023年10月16日)

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (英国ポンド建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度 (デュレーション) などを積極的に変化させる運用を行いました。具体的には、投資適格社債、金融機関が発行するシニア債の組入比率を高位とし、ポートフォリオの中心的な投資対象としつつも、先進国国債などの流動性資産も組み入れております。

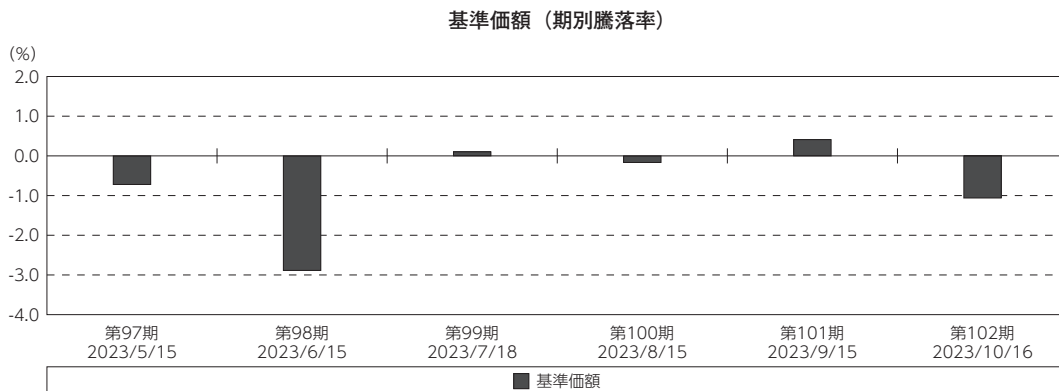
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年4月18日~2023年10月16日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2023年4月18日～2023年10月16日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第97期から第102期まで1万口当たり20円（全て税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2023年4月18日 ～2023年5月15日	2023年5月16日 ～2023年6月15日	2023年6月16日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月15日	2023年8月16日 ～2023年9月15日	2023年9月16日 ～2023年10月16日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.246%	0.254%	0.254%	0.255%	0.255%	0.258%
当期の収益	－	－	－	－	20	－
当期の収益以外	20	20	20	20	－	20
翌期繰越分配対象額	8,502	8,566	8,546	8,526	8,586	8,566

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）に投資を行います。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーションなどを積極的に変化させる運用を行います。具体的には、発行体のファンダメンタルズ分析、債券のリスク・リターンバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。足元では、英国国債や投資適格社債などに投資し、ポートフォリオのデュレーションは英国ポンド建て社債市場よりも長めとしています。今後も、リスク調整後の利回りが魅力的であるとする投資対象に投資を行う方針です。引き続き、積極的にデュレーションや資産配分を調整し、中長期で安定した収益獲得に努めてまいります。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

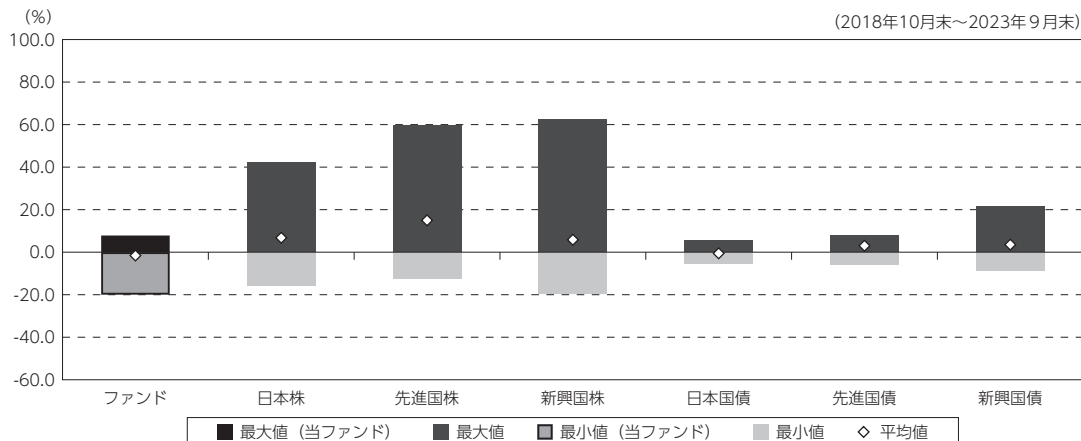
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2025年4月15日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 英国ポンド建て債券 ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資します。 ・自由度の高い運用手法を用いて、信用格付別配分や金利感応度等を積極的に変化させます。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-1.6	6.8	15.0	5.9	-0.6	3.0	3.5
最大値	7.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-20.0	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年10月16日現在)

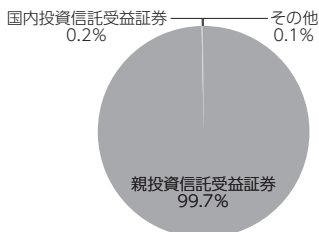
○組入上位ファンド

銘柄名	第102期末
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	99.7%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.2%
組入銘柄数	2銘柄

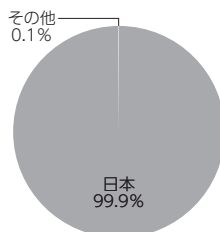
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

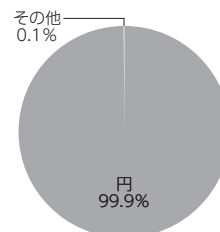
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

純資産等

項目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2023年5月15日	2023年6月15日	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日
純資産総額	32,973,438円	31,933,714円	32,141,234円	31,570,560円	31,629,796円	31,366,254円
受益権総口数	40,658,891口	40,649,225口	40,974,129口	40,416,580口	40,433,272口	40,628,663口
1万口当たり基準価額	8,110円	7,856円	7,844円	7,811円	7,823円	7,720円

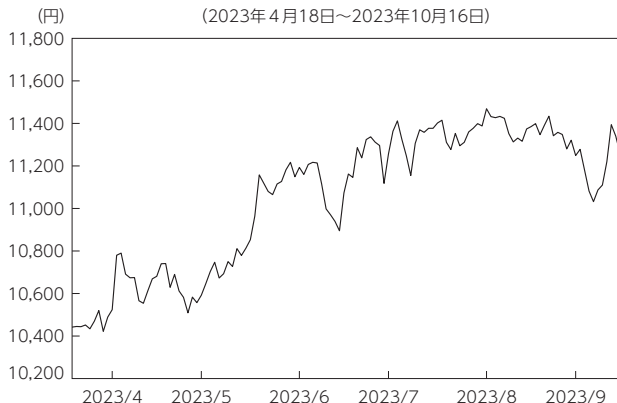
*作成期間 (第97期~第102期) 中における追加設定元本額は1,755,094円、同解約元本額は1,758,970円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年4月18日～2023年10月16日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年4月18日～2023年10月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、11,047円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

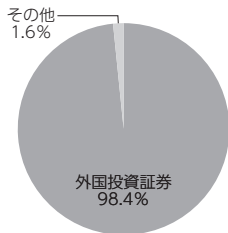
(2023年10月16日現在)

銘柄名	第17期末
インベスコ・スターリング・債券・ファンド クラスC-QD	98.4%
組入銘柄数	1銘柄

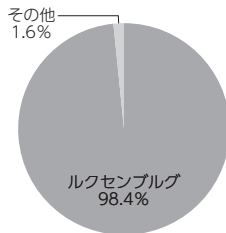
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

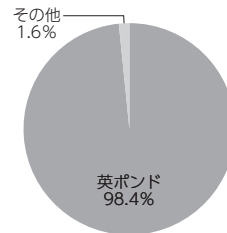
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

——— (参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド ———

「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位 10 銘柄】

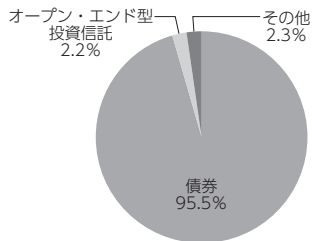
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Lloyds Banking Group Plc FRN 2.707% GBP 03/12/2035	債券	2.2
2	Invesco Liquidity Funds plc - Invesco Euro Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	2.2
3	Electricite de France SA 5.5% GBP 17/10/2041	債券	1.8
4	United Kingdom Gilt 3.75% GBP 22/10/2053	債券	1.5
5	JPMorgan Chase & Co FRN 1.895% GBP 28/04/2033	債券	1.3
6	Zurich Finance Ireland Designated Activity Co FRN 3% USD 19/04/2051	債券	1.1
7	Vodafone Group Plc FRN 4.875% GBP 03/10/2078	債券	1.1
8	International Business Machines Corp 4.875% GBP 06/02/2038	債券	1.0
9	Volkswagen International Finance NV FRN 3.875% EUR Perpetual	債券	0.9
10	Aviva Plc FRN 6.875% GBP Perpetual	債券	0.9
組入銘柄数		240銘柄	

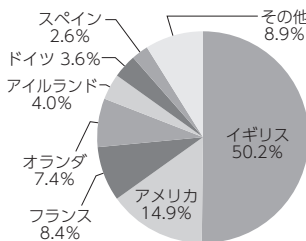
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

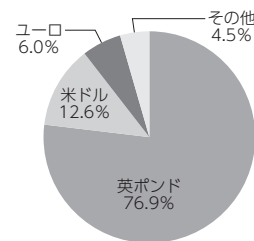
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



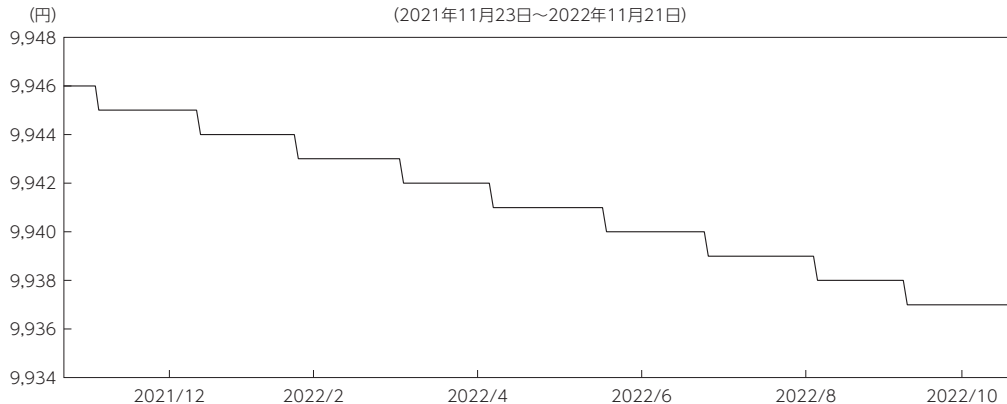
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2021年11月23日～2022年11月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	0	0.000	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、9,941円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2022年11月21日現在)

2022年11月21日現在、有価証券等の組み入れはございません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIX (東証株価指数) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社が MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社が JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JPMorgan Chase & Co. 及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。